

1. 計画の視点

現況調査に基づく課題の整理を踏まえ、「暮らしを支え、豊かにするみどりを整えること」、「みどりを支える仕組みや担い手をそだて・広げ・つなげること」、「みどりを楽しむ暮らしを広めること」を視点に置き計画を改定します。

課題の整理

- ア.みどりが持つ多様な機能を活かして、まちづくりや地域の課題に対応することが必要
- イ.みどり(樹林地、樹木、農地、湧水など)の減少を抑制し、保全することが必要
- ウ.身近なレクリエーション空間を充実させることが必要
- エ.朝霞らしい魅力的なみどりをさらに充実させることが必要
- オ.みどりの空間をネットワークさせ、レクリエーションや健康増進、みどりに親しむ場を充実させることが必要
- カ.公共空間の緑化を進めるとともに、公共施設や道路の植栽や保全緑地の樹林について、適切な維持管理や更新が必要
- キ.エコアップや都市気象の緩和等に貢献する民有地の緑化を促進することが必要
- ク.みどりの質の向上を誘導し、評価する仕組みの検討や、みどりの普及啓発を進めることが必要
- ケ.多様な主体が参加し、連携・協働しながら、公園緑地の利活用の促進を図ることが必要
- コ.朝霞のみどりを生かしたライフスタイルを内外にアピールすることが必要
- サ.地域に根付く都市公園として利活用促進が必要
- シ.農業体験や自然観察、ハイキングなど、自然とのふれあいの機会の充実が必要

計画の視点

計画の視点 1

暮らしを支え、豊かにする
みどりを整えること

計画の視点 2

みどりを支える
仕組みや担い手を
そだて・広げ・つなげること

計画の視点 3

みどりを楽しむ暮らしを
広めること

※現況調査による課題の整理より

2. みどりの将来像の検討

第6次朝霞市総合計画基本構想における将来像に即し、朝霞市の都市特性やみどりの課題から導かれた計画の視点を踏まえて、みどりのまちづくりにおける目指すべき姿として、「みどりの将来像」を設定します。

また、「みどりの将来像」を実現するため、取り組みの柱となる3つの基本方針を設定します。

